

特定非営利活動法人日本レーザー医学会
2024 年度定例評議員会・総会議事録

開催日時：2024 年 11 月 10 日（日）11：30～12：10
会 場：京都大学百周年時計台記念館

出席者（敬称略）

中村哲也理事長

秋元治朗、貴志和生、須賀 康、中島章夫（以上副理事 4 名）

遠藤英樹、小澤俊幸、尾花 明、片岡洋望、川内聰子、土田敬明、古川欣也、
松井裕史、三石 剛、武藤 学、森田圭紀、矢野友規、八巻 隆（以上出席
理事 18 名）

西脇由朗（監事）

石川耕資、伊藤 紘、近江雅人、大平達夫、尾崎 峰、尾見徳弥、
葛西健一郎、木村有太子、鈴木将之、田中 守、玉置将司、永井史緒、
西堀公治、西村隆宏、野村智史、野村 正、間 久直、深見真二郎、
古川洋志、堀 圭二朗、宮田和法、山本淳考、山本 学、杠 俊介、米田 敬、
渡邊千春（以上出席評議員 26 名）、委任状 59 名

井内俊彦、石橋直也、大橋真也、岡 潔、郷渡有子、河野明正、西林涼子、
波多野隆治、平川和貴、藤井奈穂、松本敏明ほか（以上出席正会員 55 名）、
委任状 966 名

議事

本学会定款第 29 条規定により中村理事長が議長として議事進行を務めること
が告げられ、2024 年度定例評議員会・総会の開催と現出席評議員 26 名、委任
状 59 通の計 85 名の出席により本学会定款第 30 条第 3 項に定める評議員会成立
条件の定足数（現評議員数 86 名の過半数 44 名）をまた出席正会員 55 名、委任
状 966 通、合計 1021 名で定款 30 条第 1 項に定める総会成立条件の正会員定足
数（現正会員数 1,129 名の 3 分の 1 で 377 名）を充足しているので本評議員会・
総会は有効に成立することが宣言された。なお、本評議員会・総会の議事録署
名人に片岡洋望理事、松井裕史理事が指名され両理事が就任承諾の後、承認さ
れた。

議題

I. 2024 年度定例評議員会・総会議事録承認の件。

本件に関しては、審議事項の審議終了後に承認の可否を諮ることとなり、審議事項終了後、本件は全会一致で承認された。

II. 報告事項

各委員長に代わり、中村理事長が以下の報告を行った。

1) 各委員会報告

① 規約委員会（片岡洋望 委員長）

報告すべき事項は特になし。

② 編集委員会（小澤俊幸 委員長）

1. 学会誌の発刊状況は、年 4 回のペースで順調に進んでいる。

2. レーザー医学会抄録集は、会員に配布済み。

③ 学術・教育委員会（三石 剛 委員長）

今回の Laser Week in Kyoto のプログラム作成に学術教育委員会の三石委員長、王丸副委員長、貴志副理事長が協力して行った。

④ 安全教育委員会（中島章夫 委員長）

安全教育講習会を 2024 年 11 月 9 日までオンデマンドで配信し、安全教育試験を 11 月 10 日に実施（受験者数 23 名）する。

テキスト「レーザー医療の基礎と安全」第二版が発刊され、今回の講習会から使用を開始する

⑤ 國際委員会（北田正博 委員長）

2025 年度の関連国際会議情報は、会員に向けてホームページで適宜公開している。

⑥ 涉外・広報委員会（貴志和生 委員長）

ホームページの改訂とマイページの作成を同時にを行い、約 18 万円の経費節減となった。

⑦ 社会保険委員会（土田敬明 委員長）

外保連からのアンケートに公募し、以下の通知があった。「光線力学療法は、ポルフィマーナトリウムを投与した患者に対してエキシマ・ダイ・レーザー及び YAG-OPO レーザーを使用した場合など」となっているが、記載されているレーザー、薬品は現在使用されていないため「タラポルフィリンナトリウムを投与した患者に対して半導体レーザーを使用した場合など」に改定したという提案を行った。

⑧ ガイドライン委員会（須賀 康委員長）

ガイドライン委員会からは今回報告すべき事項はない。

⑨ 庶務委員会報告（臼田実男 委員長）

2023年8月末現在における会員の状況として、全会員数1,212名、内正会員数1,118名（M会員1,014名、B会員44名、C会員60名）、新入会76名、退会30名、賛助会員2社となっている。

会員の便宜を図るため、留学や出産など特別な事情のある会員に対して休会、復会制度を設けていく。

⑩ 奨委員会（尾花 明 委員長）

論文賞に、千葉県がんセンター井内俊彦先生の「初発膠芽腫患者における光線力学療法後の再発形式」が、奨励賞に、岡山大学大学院坂東晃成先生の「Photochemical internalizationに基づく光依存的細胞質内RNA導入法の副作用低減」が選ばれた。なお、総会賞は、本評議員会、会員総会後の表彰式で、武藤総会長から発表、表彰される。

⑪ 専門制度委員会（大城貴史 委員長）

専門医、指導施設の拡充を図るため、現行の専門制度規則及び施行細則の改正を行い、申請条件を緩和することとした。詳細は学会ホームページに掲載予定である。

⑫ 倫理委員会（武藤 学 委員長）

本学会は日本医学会連合会に加盟しているので、日本医学会の倫理規定に準じた形で今後対応していく。

⑬ COI委員会（中川敦寛 委員長）

報告すべき事項は特になし。

⑭ PMDA連絡委員会（河野太郎 委員長）

「HIFU施術における人体の侵襲性の評価研究、HIFUの医療承認取得の意義」をテーマに会合がもたれた。

⑮ 将来計画委員会（秋元治朗委員長）

- 1) Laser Week の開催に際して、今後の在り方を検討するうえで、これまでに合同開催された大会のメリット、デメリットの意見の回収を行う。
- 2) 若手研究者をどのように学会に取り込んでいくか検討する。
(動画やSNSの配信)
- 3) 日本人研究者の国際学会でのプレゼンスをどのように高めていくかその方策を検証する。

その他

厚生労働省から「美容医療を行う上での、適切な治療法の選択、患者への説明内容・説明方法、後遺症対応、アフターケア、医療提供体制、研修・教育体制投打示された指針、ガイドライン」（診療ガイドラインとは異なる）の作成に協力して美容医療検討会に参加して欲しいとの要請が学会に大城理事を通して行われた。本件に対する学会側の窓口として大城理事が選任された。

2) 第46回総会について

開催期日：2025年11月22日（土）定例理事会
23日（日）、24日（月・祝）学術総会
会場：東京慈恵会医科大学1号館
大会組織：日本レーザー医学会総会（坂本 優総会長）、
日本光線力学学会（矢野友規大会長）、
日本脳神経外科光線力学学会（鰐淵昌彦大会長）

開催様式：3学会共催の「Laser Week in Kyoto 2025」

第47回総会 順天堂大学浦安病院（須賀 康総会長）

開催期日：2026年10月か11月の週末開催を検討

総会形態：レーザー治療学会との共催

今後の学術総会開催に関して上記の報告が行われた。

3) 関西支部報告（関西支部事務局 小澤俊幸理事）

関西支部評議員会を2024年7月27日にホテルグランドテラスで開催し、同日日本レーザー医学会西日本大会が開催され無事終了した。

4) その他

11月8日に開催された臨時理事会において、貴志和生現副理事長が新理事長に選任され、次期理事長に就任した。

審議事項

1) 令和6年度会計決算報告

収入の部において事業収入のレーザー医学会の学術大会経費がインボイス制度から一般会計に組み込むことになり予算0のところが14,000,000円ほど増えている。また、第44回総会より2,000,000円の寄付があった。支出に関しても、レーザー医学会の学術集会が約14,000,000円となっていて、この分においては同項目の収入

と相殺される関係となっている。また、第45回総会の準備金が0となっているのは、支払いが会計年度終了後に行われたためで、次年度予算に計上してある。また、ホームページ改修費が957,000円となっているのは、ホームページ改修とマイページの作成が同一業者で行われることから予算より180,000円減額となった（涉外・広報委員会報告でも報告されている）。

以上より、次期繰越金は48,117,000円となった。との報告が行われた。なお、西脇監事より、嶋尾監事と共に監査を行った結果、適正に執行されているとの会計検査報告が行われた。以上の報告を受けて中村理事長が、その諾否を会場に諮ったところ全会一致で承認された。

2) 監事の選任

11月8日の理事会において西脇由朗監事と船坂陽子理事が推薦されたことが報告され、両氏の幹事就任に関し中村理事長がその諾否を会場に諮ったところ全会一致で承認された。両氏ともその場で就任を承諾した。

以上をもって特定非営利活動法人日本レーザー医学会 2024 年度定例評議員会・総会は、全ての報告、審議を終えた旨、議長の中村哲也理事長から会場に告げられ、閉会した。

令和7年1月29日

文責 河野明正